

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月29日

和泉市長 あて

団体名 泉州信太山盆踊り保存会  
代表者名 北 口 誠   
所在地 和泉市富秋町1-5-33  
電話番号 090-9617-2336

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	<u>1,200,000</u> 円 (うち、対象経費 <u>1,200,000</u> 円)
支援金 交付申請額	<u>600,000</u> 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。



## 事業計画書

1 事業名	伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>地域（富秋中学校区）は、少子高齢化が進み、若年層の流出や新たな住民の流入などにより、地域全体のつながりや絆・支え合いの希薄化が進んでいます。また、市営住宅の建て替えや小中一貫校の新設、公共施設のあり方など新たなまちづくりも地域で議論されており、地域の伝承文化の継承として信太山盆踊りもまちづくりとひとつづくりの一端を担っていければと考えています。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>長年に亘り、地域に伝えられ、大事に守られてきた泉州信太山盆踊りを通して、地域の伝承を伝えると共に、世代間の交流と地域連携を図り、地域のコミュニティの活性化や地域の絆を深めることをめざします。子どもたちにおいては盆踊りの歴史や地域の方々の思いを伝え、ふるさと愛や地域への誇りを育てていきます。</p> <p>そして信太山盆踊りを地域の宝として次世代に伝え、府の無形民俗文化財などをめざして魅力あるまちづくりの一環にしていきます。子どもや青少年層との合同の取り組みにより世代間交流が進み、自治会との連携でコミュニティの活性化と地域力の向上にもつなげていきます。</p> <p>また、信太山盆踊りは全国的に見ても歴史と伝統がある唯一無二の盆踊りでもあります。こうした取り組みを和泉市の魅力づくりや「トカイナカ」の普及に貢献できるよう推進していきます。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民向け盆踊り講座の実施</li> <li>○子ども向け盆踊り講座の実施</li> <li>○伝承文化の語り部活動</li> <li>○信太山盆踊りの支援（太鼓、三味線、音頭、囃子等）</li> <li>○小学校・保育園等への出前講座</li> <li>○各種イベントへの参加（各施設や他市へのイベントや自衛隊）など、他の伝統（承）文化イベントとのコラボ等）</li> <li>○各校園への働きかけ（宣伝）や講座回数増加など強化する予定。また、指導者育成には地元青年団等や各種団体との連携をしていきます。</li> </ul>	
②実施期間（日時）	2026年4月～2027年3月

③実施場所	和泉市内
④主な対象者	和泉市民、地域の高齢者～子ども
⑤参加予定者数	参加予定者 30 人～50 人
⑥告知方法	各種団体と連携した周知（ニュース等） 各校園への周知

## 5 事業スケジュール

次期（月）	内容
4月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
5月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
6月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
7月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動 保・幼・小への盆踊り出前講座
8月	盆踊り講座（市民向け一般・子ども） 保・幼・小への盆踊り出前講座 信太山盆踊りへの支援活動
9月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
10月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
11月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
12月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
1月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
2月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
3月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動

今年度も講座を 35 回程度予定しています。増加の理由は子どもたちへの講座の拡充です月に 2～3 回程度を実施する予定です。  
 少子高齢化が進む地域の中で顔が見える環境づくりと世代間交流、持続可能な伝承文化の継承をめざしたいと考えています。

## 6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

① 公益性	<p>① 地域の伝承文化である信太山盆踊りは地域に愛され、地域の誇りとして継承されてきました。全国的に見ても独自・地域特有であり唯一無二の盆踊りです。大阪府内でも最大級の盆踊りで和泉市の財産であり、魅力づくりにも貢献しています。こうした信太山盆踊りを一人でも多くの市民の方々に知っていただくことは重要であり共感していただける事業であると思います。</p> <p>②信太山盆踊りの音頭の歌詞には葛葉物語や小栗判官物語など和泉市にゆかりのある物語が取り込まれています。盆踊りを通して多くの人に和泉市の歴史や伝承を知っていただくことができます。</p> <p>③地域の少子高齢化や若者の流出などが進み地域全体の絆や支え合い</p>
-------	--

	<p>が希薄化しています。そうした中、あらためて信太山盆踊りを子どもたちや新たな年代層や多くの住民に継承していくことで世代間交流が生まれ、地域の活性化につながり、地域のまちづくりの一端を担っていくことにもなると思います。</p> <p>④コロナ禍も収束し、住民の憩いの場やふるさとに帰ってくるのが少しずつではありますが増えてきています。改めて信太山盆踊り事業を積極的に推進し、地域と市民が元気づけられる、人と人がつながる事業展開をおこなっていきます。</p> <p>⑤配慮が必要な市民（障がい者・高齢者・子ども等）に対しては事前に参加がわかっている場合や連絡がある場合には役員会等で検討し、参加しやすい環境づくりに努めていきます。</p> <p>⑥2025年度の成果としては大阪・関西万博に出演し、信太山盆踊りと和泉市を全国（世界）に広くアピールできたと思います。この成果をもとに観光に来た日本内外の方々に盆踊りをアピールしていきます。</p>
<p>② 継続性</p>	<p>⑤自治会や各種団体と連携し、信太山盆踊りを運営するとともに各校園などを出前講座として実施し、だれでも参加しやすい環境をつくり、事業の発展と継続に取り組んでいきます。</p> <p>⑥各校園での出前講座、様々なイベントに参加し、信太山盆踊りの魅力と歴史を広め、和泉市の魅力としても発信します。</p> <p>⑦現在の財政状況では補助金がないと厳しい状態ではありますが、事業の目的を理解してもらい協賛金や寄付金などの取り組みを検討していきます。2024年度も検討してきましたが事務局体制の確立の問題や日常活動の安定化に追われ議論が進まなかったので引き続き各種団体とも連携して財政問題の改善を追求していきます。</p>
<p>③ 実行性</p>	<p>⑧自治会や各種団体と目的・予算を共有しながら連携し、役割分担とネットワークで事業をスムーズに運営していきます。</p> <p>⑨自治会や各種団体との連携と地域住民の協力で安定した体制をつくっています。</p> <p>⑩予算については必要最低限を計上しました。講師についても信太山盆踊りは他に類さない地域特有の音頭や踊りのため一般的な講師では難しくこれまで長く携わり継承していただいている講師にお願いしているためこのような申請額となります。</p> <p>⑪役員や構成員による会議等を開催し、随時に計画の進行管理や情報交換と目的の意思統一を図りながら安定した組織づくりをおこなっています。</p> <p>※新たな役員等を育成し、様々な年齢層や多様性に富んだ組織をめざします。</p>
<p>④ 協働性</p>	<p>⑫子どもから高齢者まで誰でも参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。学校園と連携しながら出前講座を開催し、子どもたちにも安心安全な参加できる環境づくりを積極的に取り組んでいます。</p>

	<p>⑬信太山盆踊り開催については自治会から各種団体まで役割分担をしながら運営しています。こうした取り組みを通して地域課題の共有や課題解消にむけての意見交換の場にもなっています。また、他の地域や他市の伝承文化の交流も積極的におこなっています。</p> <p>⑭盆踊り講座をとおして世代間交流や地域の強み等の共有を図っています。そうしたことで地域愛や地域への誇りづくりにもつながっています。</p> <p>※今後は盆踊り講座等へ参加していただいた方々を本事業や盆踊りの運営、地域の様々な取り組みに参画していただけるような情報提供や仕組みづくりも検討していきます。</p>
<p>⑤ 公開性</p>	<p>⑮自治体・各種団体と学校・園への情報提供。盆踊り開催の立て看板。地域住民への回覧や掲示板の活用。</p> <p>⑯盆踊り本番では子どもたちが太鼓や三味線、音頭や踊りを体験できるように子どもタイムとして盆踊りにふれる機会をつくっています。高齢者や障がい者も参加できるように各種団体がテント等を準備して間近で盆踊りを観れる環境づくりに取り組んでいます。また、感染症や災害時には盆踊りの実施についても関係機関、自治体・各種団体と協議検討していきます。</p> <p>⑰2025 年度も多くの人に参加していただいたが参加層（年齢層や地域性等）が偏っていたように思える。市民全体への宣伝等の課題が浮き彫りになった。様々なネットワークを活用した情報発信と和泉市役所と連携した宣伝活動等を検討していきます。和泉市との連携については人権文化センターの共用スペースやにじのとしょかんの利用者、伝承文化公演会などのイベントも活用した広報活用をめざしていきます。</p>
<p>⑥ 発展性 （先駆性・展開性） （集客性）</p>	<p>⑰歴史と伝統のある泉州信太山盆踊りに参加することによって和泉市のことに興味を持ち、和泉市の魅力と誇りになるような事業をめざします。そして和泉市の活性化につながる事業としても取り組みます。</p> <p>⑱2025 年度の大阪・関西万博出場の成果を踏まえ集客性等を発展させていくことが重要です。また、歴史と伝統を大切に守りつつ、多様な方々が参画できる新たな盆踊りの形についても模索していきます。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称：伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	600,000円	和泉市市民活動推進支援金
自主財源	600,000円	団体会計
合 計	1,200,000円	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	1,050,000円	講師謝礼費 30,000円×35回（1講座講師3名・一人あたり10,000円）
消耗品費	28,000円	用紙・印紙・事務用品等（28,000円）
食糧費	72,000円	講師食事代（1講座講師3名・一人あたり800円）×30回
使用料及び賃借料	50,000円	会場借り上げ 10,000円×5回
合 計	1,200,000円	
対象経費	1,200,000円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。